

**令和7年度 ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム  
(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・先端ゲノム研究開発) (GRIFIN)**  
中間評価 評価コメント

No.	評価課題名	研究 代表者名	所属機関	役職
01	炎症性関節炎の統合ゲノミクス解析	寺尾 知可史	理化学研究所	チーム ディレクター

**【評価コメント】**

本研究は、計画通り、あるいはそれ以上に順調に進展しており、複数の領域において顕著な成果が得られている。患者検体の収集は想定以上に進捗しており、炎症性関節炎のゲノム解析、1細胞トランскriプトーム解析、エンハンサー解析において着実な成果が得られている点は高く評価される。また、転写開始点特定パイプラインの独自解析基盤を活用した研究がハイインパクトジャーナルで採択されるなど、研究の質の高さが示されている。変形性関節症の新規の疾患関連領域や日本人特異的多型と関節リウマチの関連解明など、先駆的な解析の試みも評価されており、今後のさらなる進展が期待される。研究チーム内および拠点間の連携も順調であり、国際コンソーシアムとの協力による新規関連領域の同定など、研究の広がりも見られる。統合スコア構築に向けたデータも集まりつつあり、社会実装に向けた展望も期待される。

一方で、統合スコアがどのような方法論にて算出されるのかが分かりにくかったため、今後の研究の展開に向けて、より詳しい説明が望まれる。また、実際のデータクオリティについても明確な情報が得られなかったため、今後の報告において補足されたい。今後は、データのインシリコ解析が重要となるが、これまでの成果を踏まえ、後半に向けてさらなる優れた成果が上がる期待する。

以上